

川西市のごみ減量の合い言葉

始めよう！
ごみの減量 私から

1人1日 **100g**

川西市

キャラクター紹介
左からエコちゃん、ぶつくりごみくん、スリムちゃん、クリンちゃん、ぶつくりモンスター

「エコかるた」で楽しく学ぼう！

市ではごみ減量の啓発活動を行う職員(リサイクル・アドバイザー)がオリジナルのエコかるたを作っています。エコかるたは掲示用の大きなものと、実際にかるた取りを楽しめるサイズの2種類あり、かるたを使ってごみの減量について楽しみながら学ぶことができます。小学校やグループに貸し出しもしています。

まちづくり出前講座「ごみ学習会」のご案内

リサイクル・アドバイザーがご要望に応じて地域に出向いてごみ学習会を開きます。学習会では、年齢や希望にあわせてエコかるたのほかに、紙芝居やスライド、実物ごみなどを使って楽しく学ぶことができます。自治会や子ども会、仲良しグループなどで気軽にお申し込みください。

会場 申込者側で用意してください。
申込方法 直接リサイクル推進課(電話可)へ。
日程や内容は相談に応じます。
北部処理センターの見学とあわせて実施することもできます。



「何回も 繰り返し使える リターナブルビン」

牛乳ビン、ビールビンなどのリターナブルビン(回収、洗浄して再利用するビン)は何度も繰り返し使うことができる環境にやさしい容器です。それに対して1回だけ使うことを目的として作られたビンのことをワンウェイビンといいます。ワンウェイビンは使い終わったあと分別収集され、こまごまにくだかれてカレットとよばれるビンの原料となり、溶かされて再びビンとして生まれかわります。

「うっそ〜！ 知らない間に払ってる 容器代」

容器は「タダ」でしょうか。食品トレイやペットボトル、きれいな箱や牛乳パック。容器代に注目すると意外とたくさんのお金を支払っていることが分かります。買い物の時にちょっと考えてみることで無駄な容器ごみを減らすことができます。

減量方法
● 洗剤・シャンプーなどは詰め替え商品を買う。
● 野菜や果物は、ばら売りを利用して必要なだけを買う。



「繰り返し 買って使うも リサイクル」

環境への負荷ができるだけ少ない商品を買うことをグリーン購入といわれます。

環境にやさしい商品を選ぶときには「環境ラベル」を参考にしましょう。

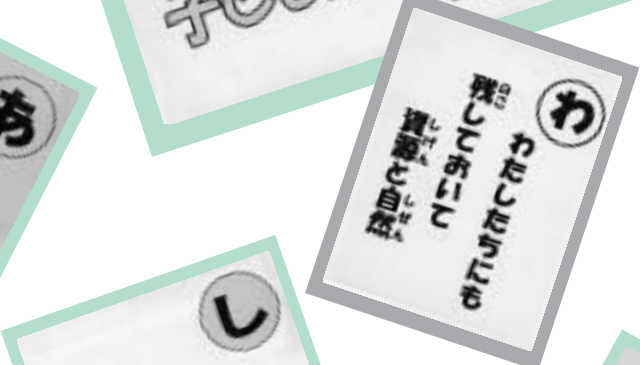
- 紙**
 - 古紙の配合率が多い。
 - 白色度が低い。
- 文房具**
 - 再生材料を多く使用している。
 - 消耗部品が交換できる。
 - 補充ができる。
- 照明**
 - エネルギー消費効率が高い。
 - 寿命が長い。
- 家電製品**
 - 消費電力が少ない。
 - 節電機能がついている。
 - アフターサービスがついている。

環境ラベルの一例

「エコマーク」
環境保全に役立つと認められた製品に表示される。

「グリーンマーク」
古紙を一定以上の割合で原料に使用した紙製品に表示される。

「省エネ性マーク」
家電製品の省エネ基準達成度を示したもので、達成率100%以上の製品には緑色のマークが表示される。

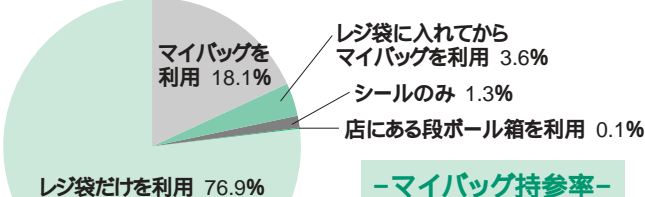


マイバッグ(買い物袋)を持って買い物に行こう！

買い物にマイバッグを使えば、不要なレジ袋をごみとして捨てることもありません。レジ袋を断る行為は、誰もがすぐ実践できるごみ減量です。さらに、レジ袋の原料である資源(石油)を大切にすることにもつながります。マイバッグといっても特別な買い物袋を用意する必要はありません。家にあるレジ袋でも結構です。お買い物には、ぜひマイバッグをお持ちください。

調べてみました

買い物時のマイバッグ持参率を調べる調査は今年で3年目。調査は市内のスーパーマーケット4店舗で行いました。今年の結果は18.1%でした。



マイバッグ持参率

平成15年度	14.9%
16年度	20.9%
17年度	18.1%

実施日:7月29日,8月1日,11月24・25日 調査時間:午後4~7時



聞いてみました

マイバッグをお持ちの方に、使い心地や良い点を聞いてみました。

- スーパーの前で買い物袋持参の呼び掛け
- 荷物を一つにまとめられ持ちやすい。
- レジ袋がたまらない(ごみにならない)。
- お店によってはポイントをためる楽しみがある。
- 肩からさげられて楽だし、おしゃれに持てる。

ちょっとした工夫で生ごみ減量！

一人ひとりが、毎日出る生ごみを減らすことで大きな効果が得られます。皆さん、いろいろな工夫をしてごみを減らしています。今からできることもたくさん。生ごみの減量方法をご紹介します。

- しっかりと水切りをする。
- 野菜の葉やきなど食べられるところは調理する。
- 冷蔵庫の中身をチェックして買い物をする。(家庭の電力使用量の約20%が冷蔵庫です。)
- 冷凍しているものを調べて必要なもののみを買う。(平均的に30%は余分に購入しています。)
- 生ごみを肥料にして活用する。

生ごみ処理機等購入費助成制度
処理機などを購入する場合は、助成制度を利用しましょう。(5年間は再申請できません。)

助成額 購入費(消費税を除く)の半額。上限1万円。
申込方法 購入前にリサイクル推進課に電話などで予約を。

密閉式コンポスト化容器で生ごみ減量 - ぼかし肥も手作り！ -

堀田洋一さん(小戸)

密閉式のコンポスト化容器3つを使い回しています。生ごみからできた肥料と容器の下の方から抽出した液を庭木や畑の肥料として使っています。

ぼかし肥(たい肥)を促進する資材「元手作り」です。春にモギの新芽を採って黒砂糖を混ぜて重しをする。約1週間発酵汁が抽出できます。できた汁に米ぬかや油かす、魚粉等を混ぜてぼかしを作ります。生ごみをコンポスト化容器に入れ、ぼかしをふりかけます。ぼかしは1回作ると半年以上もつので重宝します。

生ごみを容器に入れるたびにぼかし肥を混ぜ合わせなければなりませんし、結構手間がかかります。また、畑がなければ肥料の使い道に困るので、ご家庭の事情に合わせて電気式生ごみ処理機を使うのもいいと思いますよ。我が家では3年前から生ごみは全量を自家処理しています。



抽出した液も肥料に

コンポスト=たい肥

リサイクル情報誌「り・ぼ・ん」

ベビー用品、家具など譲りたいもの、譲ってほしいものの情報がいっぱい。毎月15日頃発行で、市役所や公民館、市内スーパーなどに置いています。市のホームページにも掲載。<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp>

登録方法(掲載を希望するとき)

「り・ぼ・ん」の裏表紙に登録申し込み用紙がついています。市のホームページから印刷することもできます。必要事項を記入のうえ、郵送またはファクス、持参してください。登録は川西市市民に限ります。

利用方法(情報を見て欲しい、譲りたいものがある)

まず、リサイクル推進課へ電話を。品物の交渉が成立していないか調べます。相手の連絡先を聞いたら、直接電話をして「り・ぼ・ん」を見たことを伝えて交渉しましょう。品物の受け渡しが済むと成立です。

